

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	母子家庭の母等に対する就労支援事業費		担当部局庁	職業安定局派遣・有期労働対策部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度		担当課室	企画課就労支援室		就労支援室長		
会計区分	一般会計		施策名	(Ⅱ-1-3)高齢者、障害者、若年者等労働者の特性に応じ、就労支援や失業の防止を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	母子家庭の母等は、近年急速な増加傾向にあり、児童扶養手当受給総額も急増している状況であるが、いわゆる「ワーキングプア」層として経済的困難に直面している者が多く、これらの者がより安定的な収入を確保できるよう就労支援を進める。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	母子家庭の母等の就労支援を行うため、試行雇用事業を実施するとともに、地域就労支援策情報の提供を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	61	52	49	43	40	
	執行額	21	14	13				
	執行率(%)	34.4%	26.9%	26.5%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	常用雇用移行率		成果実績	%	78.5%	81.0%	78.5%	80%
			達成度	%	98.1%	101.3%	98.1%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	開始者数		活動実績 (当初見込み)	人	219	149	154	-
						(200)	(200)	
単位当たりコスト	81,935(円/人)		算出根拠	平成22年度執行額(12,618千円)を平成22年度開始者数(154人)で除して得た額。				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	謝金	1	1	試行雇用奨励金の支給見込件数の減				
	旅費	1	1					
	庁費	6	5					
	給付金	35	33					
計	43	40						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	リーマンショック等の影響を受け、平成22年度は常用雇用移行率が低迷している。
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	母子家庭の母等のニーズを踏まえ、短時間勤務によるトライアル雇用を経て常用雇用へ円滑に移行できる仕組みを構築するとともに、利用実績等を踏まえ適切な予算規模を確保する必要がある。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	母子家庭の母等に対する就労支援事業費は、執行状況を予算要求に反映すること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
過去の実績を踏まえ、試行雇用奨励金の支給見込件数を見直した。(反映額: ▲4百万円)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

国

厚生労働省
(13百万円)

・関係部局等との調整。
・施策の企画・立案、都道府県労働局に

都道府県労働局
(13百万円)

・トライアル雇用利用希望者への事業
説明等

A. 事業主
(13百万円)

・トライアル雇用の実施
・トライアル雇用奨励金の受給。

A.事業主			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
給付金	試行雇用奨励金の受給	13.0			
計		13	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)